

富士は見えないかも…でもね

竜ヶ岳

実施日 2012年6月2日(土)
 天候 曇り
 リーダー 涌井 良明
 参加者 涌井良明、島本陳重、鈴木恵美子、中村友子 計4名
 費用 JR1,140円(高尾⇄大月)
 クルマ負担料1,000円
 タイム 大月(7:40)本栖湖キャンプ場(8:40~8:47)展望台(9:35~9:40)東屋(10:07~10:10)竜ヶ岳(10:52~11:35)端足峠(12:03~12:08)本栖湖畔歩道入口(13:30)キャンプ場(14:30)
 データ 積算距離 10.7km
 行動時間 5時間47分
 移動平均速度 3.1km
 総上昇量 726m

日帰り臨時企画として実施した。当初計画時の4月には体調不良で行くことが出来なかった竜ヶ岳に行ってみることにした。前日まで天候の様子見をしていたが、それでも4名で行けることとなり、参加してくれたメンバーに感謝です。

人数、コースなどからクルマ利用とした。大月駅に集合して、クルマで本栖湖に向かう、渋滞もなく本栖湖キャンプ場の広い駐車場に着く。駐車場に設置された導標に導かれて登山口から山歩き道に入る。歩きやすい傾斜で快適な登りだ。新緑が深緑に変



わりつつあり、美しい緑に癒されながら心地良い、体調もどうやら落ち着いている(これが一番ウレシイかも)

展望台とある台地に出る。周囲の木々には葉も広がりそれほど展望ないが、竜ヶ岳のまあるい本峰が見え出した。

緩い鞍部を過ぎ視界が開けた道になるが、富士山



はまわりつく雲の塊でお隠れのままだ。しばらくでお地蔵さんも鎮座する東屋に出る、ここから本峰の登りになるが、九十九折りの登りで順調に高度を上げる。竜ヶ岳周回歩道の分岐を過ぎると広い台地の山頂である。やはり富士山はザンネンだが無風で気持ち良い山頂のテールでのんびり昼食を取ることが出来た。小人数ならではので良い所かも知れない。

充分のんびりしてから、写真撮って下山ルートに入る。途中出会った数パーティは周回やピストンらしく下りではキャンプ場まで誰とも出合わない静かな山歩きになった。

気持ちの良い尾根道からミツバツツジの残るやや急な下り道を辿る、前方に盛り上がる雨ヶ岳が圧倒するようにせり上がってくる。下り切った狭い鞍部が端足峠で雨ヶ岳への道が続くが、ここから右へ本栖湖への下りに入る。(古い地図では峠の先から下山道が出ているので注意、但し道型はあまりに明瞭なので間違えることはないだろう)

ジグザグに切られた下り道で快適に歩を進めるが、先の実施レポートにもあった魔の?本栖湖歩道の巻道はまだ眼中にはなかった。車道を避けてその本栖歩道



に入る。少しは歩かれてはいるようだが、荒れているというか手入れがされていない道である。倒木が非常に多く、跨いだり、くぐったり、乗越たりを頻繁にくり返し、更に小さな登降もあり、左の本栖湖面につかず離れず延々と続いていく。いい加減うんざりしたところに湖畔道に降り立ち、山道は終わった。下山モードで歩くにはあまり嬉しくない歩道だった。キャンプ場駐車場に戻り帰路へ。

富士の展望はなかったが、初夏らしい山歩きを楽しめた。また思いの他、歩き甲斐のある?山となった。

展望と紅葉の時期にでもまた訪れてみたい山だ。

(記&写真・涌井 良明)

